

学校教育目標	出会い ふれあい ひびきあい ○基礎・基本の確実な定着を図り、自ら学び続けようとする子を育てます。(知) ○人権教育を推進し、みんなが安心して豊かに生活をしようとする子を育てます。(徳) ○自らの健康や安全に関心を持ち、健やかでたくましい体をつくろうとする子を育てます。(体) ○家庭・地域・学校が連携を深め、地域・社会に積極的にかかわろうとする子を育てます。(公) ○様々な人とのふれあいを通して、自らの考えや視野を広げようとする子を育てます。(開)													
	学校概要	創立	42	周年	学校長	福田 美穂	副校長	高嶋 聡	2	学期制	一般学級	15	個別支援学級	3
	児童生徒数	495	人	主な関係校	南希望が丘中学校									

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
	南希望が丘中学校 希望ヶ丘小学校	自分をとりまく人々と積極的にかかわりを持ち、その中で自ら成長する子ども ・9年間のつながりを基盤に、児童が意欲を持ち、相互に学び合う授業づくりを進める ・相互理解を深めるため、小中合同授業研究を実施する(年2回) ・子ども像を共有しながら、児童生徒指導や学習指導等の情報交換を行い、共通理解を深める
<言語能力> <問題発見・解決能力> <自分づくりに関する力>		

中期取組目標	○地域・家庭・学校との連携を深め、温かい雰囲気の中で子どもたちが生き生きと成長することができる学校を目指します。 ・一人ひとりが自分の思いを表現できる授業をめざし、基礎基本の定着を図り、学力向上に取り組みます。 ・多くの人々とのかかわりや体験を通して学び、主体的な活動を目指します。 ・自他とのかかわりのなかで、自他のよさに気づき、互いに認め合う心を育てます。 ・地域・家庭と連携を図り、協働教育を常に意識した信頼される学校づくりを目指します。 ・体力向上を目指し、身体と心の健康について全校で取り組みます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①学年の児童の実態・課題を把握し、ねらいを明確にし、主体的・対話的・深い学びをめざす授業に取り組む。②スマイルタイムを充実させ、基礎基本の定着に取り組む。③教育課程全体で育成をめざす資質・能力を明確にした教育課程編制を行う。
担当 学力向上委員会	
豊かな心	①年間を通してスマイル班活動の充実を図り、人のかかわりの中で自他のよさに気づき互いに認め合い、思いやる心を育てる。②人権週間では他者理解を深め、自他共に大切にできる心情を育てる。③道徳の授業を大切に、豊かな心の育成に努める。
担当 特色推進委員会	
健やかな体	①学校保健委員会で心身の健康について話し合ったことを実践しながら、意識の向上に努める。②リズム縄跳び、いきいきキッズ、大縄跳び大会などに主体的に参加し、体力向上をめざす。③外遊び、集団遊びなどを通して運動する楽しさを味わい、体力向上に関心をもつようにする
担当 児童支援委員会	
児童生徒指導	①「善部小ルールブック」をもとに、よりよい生活習慣・学習態度を身に付けさせるよう、全職員で一貫して指導する。②職員会議で「子どもの話」を全職員で共有し、チームで支援を行う。③子どもの声をしっかりと受け止めて寄り添い、家庭と連携して解決するように努める。
担当 児童支援委員会	
自分づくり教育	①さまざまな行事・学習で体験活動を重視し、主体的に活動し、自分に自信がもてるような機会を大切に作る。②自己を見つめ、よりよい生き方を求められるよう、振り返りを大事にし、キャリアパスポートを蓄積していく③まちの先生や地域での体験的な学びを通して、自己有用感を高める。
担当 特色推進委員会	
特別支援教育	①一人ひとりのニーズに沿った個別の教育支援計画や指導計画を作成・活用する。②関係機関と連携をとり、一人ひとりにあった支援が行えるようにする。③特別支援に関する研修・ケース会議・コンサルテーションを行い、子どもたちが安心して生活できる支援についての理解を深める。
担当 児童支援委員会	
協働教育	①学校協働運営協議会で授業参観・行事参観を通して本校教育活動にご理解をいただく。②参観等での児童の様子からご意見をいただき、成果・課題を今後の教育活動に生かしていく③地域のサポートを生かした授業、保護者ボランティアによる豊かな体験活動・環境づくりを大切にする
担当 教務部	
担当	
いじめへの対応	①YPアセスメントを研修・活用する②全職員で児童理解の情報共有・アンケートの実施を行い、いじめの早期発見・早期対応を心掛け、月1回防止対策委員会を行う。③報告、連絡、相談を常に意識し、チームで対応を行う。④家庭との連絡を密にし、保護者との連携を大切にする。
担当 児童支援委員会	
人材育成・組織運営 (働き方改革)	①5年次以下の教員を対象にした「スマイル塾」を組織し、ミドルリーダーが中心になって自主的な研修を行う。②校内重点研究会・区市研究会に積極的に参加し、授業力向上に努める。③主幹教諭をリーダーとした3委員会で全職員が役割を担い、学校運営に携わっていく。④会議の精選等を行い、働き方改革の意識を高める。
担当 教務部	